

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.177)

1. 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は豊田PCB処理事業所におきましては、周辺の皆様にご心配をおかけするような事故などを発生させることなく、安全で安定的な処理を実施することができました。豊田市からのご指導や地域の皆様のご理解の下、安全な操業ができておりますことに対しまして、改めまして感謝申し上げます。

さて、豊田PCB処理事業所で実施中のPCB処理事業は、処理期限が迫ってきております。PCB廃棄物(トランス類・コンデンサ類)の保管事業者は、原則平成33年度末までにJESCOに処理委託を行わなければならないことが法律上の期限として定められています。残すところ3年3カ月であり、豊田PCB処理事業所では、期限内に処理を完了させるべく、国、自治体と協力しながら取り組みを進めているところです。また、事業終了後においては当処理施設は解体撤去する予定であり、その実施に向けた計画の立案も並行して検討を進めているところであり、処理の進捗も含めまして節目ごとに地域の皆様にも状況をお知らせしていきたいと考えております。

本年も従来と変わらず、何よりも安全を最優先にして安定的な処理を進めていきたいと考えておりますので、皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



平成31年1月
豊田PCB処理事業所長 石垣喜代志

2. 交通安全街頭活動を行いました

12月3日(月)に豊田市の「年末の交通安全市民運動」の一環として行われた「全市一斉交通安全街頭活動」に参加しました。

豊田PCB処理事業所からはJESCO、運転会社の社員約30名がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを掲げ、ドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。



3. 豊田PCB廃棄物処理施設 秋期定期点検を実施



●定期点検中の安全パトロールの実施

定期点検期間中は、施設内の安全を確認するために週1回の安全パトロールを実施しました。

この期間は、通常業務とは異なる点検・工事を行うため、多くの外部作業員が入所します。JESCO、運転会社、工事業者の3者でパトロールを行いルール違反や不適切な作業が行われていないかを確認しました。

今回の定期点検は、非常に良く管理された状態で実施することができました。なお良好事例に関しては、他の工事場所にも展開し、さらなる安全業務の遂行を図りました。

●12月の実施作業

◆PSA・計装用コンプレッサ点検整備

当事業所にはコンプレッサ(空気圧縮機)を下記2つの用途のために5基設置しています。

・PSA用コンプレッサ

真空加熱設備等、酸素があると発火の恐れのある工程ではそれを防止するために窒素を封入します。PSA装置は空気中から窒素を分離して供給する装置で、この装置に圧縮空気を送るのがPSA用コンプレッサです。

・計装用コンプレッサ

所内の各設備にはエアシリンダやエアバルブ等空気圧を使用する機器が多数設置されており、これらの機器に駆動用の圧縮空気を供給するのが計装用コンプレッサです。コンプレッサは設備が正常に稼働するための大変重要な機器のひとつです。摩耗部品の交換など定期的な点検と整備を実施しています。

◆攪拌洗浄槽内部点検

攪拌洗浄槽はコンデンサの素子等、PCBが含浸しているものを溶剤に浸けて洗濯機のように攪拌しPCBを洗い流す装置です。今回は通常の点検に加え、一部の槽でカゴ受け台(洗浄カゴを乗せ回転させる台座)をクレーンで持ち上げ、内部の状況について、亀裂や摩耗の兆候がないか点検を実施しました。(右写真)

今後も処理完了まで適切にメンテナンスし、確実な運転を継続していきます。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

